

社会資本総合整備計画

防災・安全交付金

令和04年01月12日

計画の名称	災害に強い安全で安心な公園づくり（第四期）（防災・安全）													
計画の期間	令和04年度～令和08年度（5年間）											重点配分対象の該当		
交付対象	大津市													
計画の目標	本市における都市公園は、220箇所を超える数となり、公園に設置されている主要建築物の耐震化や施設の急速な老朽化は、大きな懸案事項となっている。 そのような状況の中で、防災目的に利用可能かつあらゆる人にとって障害とならない公園等の整備を推進することにより、災害時における避難者の安全確保に努め、安全で安心なまちづくりに寄与する。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		256	A	256	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R4	R6	R8
1	大津市地域防災計画において指定緊急避難場所に位置付けられた公園施設の耐震化率を71%（R4年当初）から100%（R8年末）に向上させる。			
	指定緊急避難場所に位置付けられた公園施設の耐震化率	71%	86%	100%
2	既に策定された長寿命化計画について、見直しを実施した公園施設の割合を16%（R4年当初）から100%（R8年末）に向上させる。			
	既に策定された長寿命化計画について、見直しを実施した公園施設の割合	16%	38%	100%
3	R2年度およびR3年度に更新した大津市公園施設長寿命化計画のうち、健全度C判定かつ耐用年数9割未満とされる公園施設の改修および更新を実施した割合を13%（R5当初）から100%（R8年末）に向上させる。			
	R2年度およびR3年度に更新した大津市公園施設長寿命化計画のうち、健全度C判定かつ耐用年数9割未満とされる公園施設の改修および更新を実施した割合	13%	50%	100%
4	指定緊急避難場所及び緊急避難場所において、公園のバリアフリー改修が実施されている割合を7%（R7当初）から48%（R8年末）に向上させる。			
	指定緊急避難場所及び緊急避難場所に位置づけられた公園施設の耐震化率	7%	29%	48%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

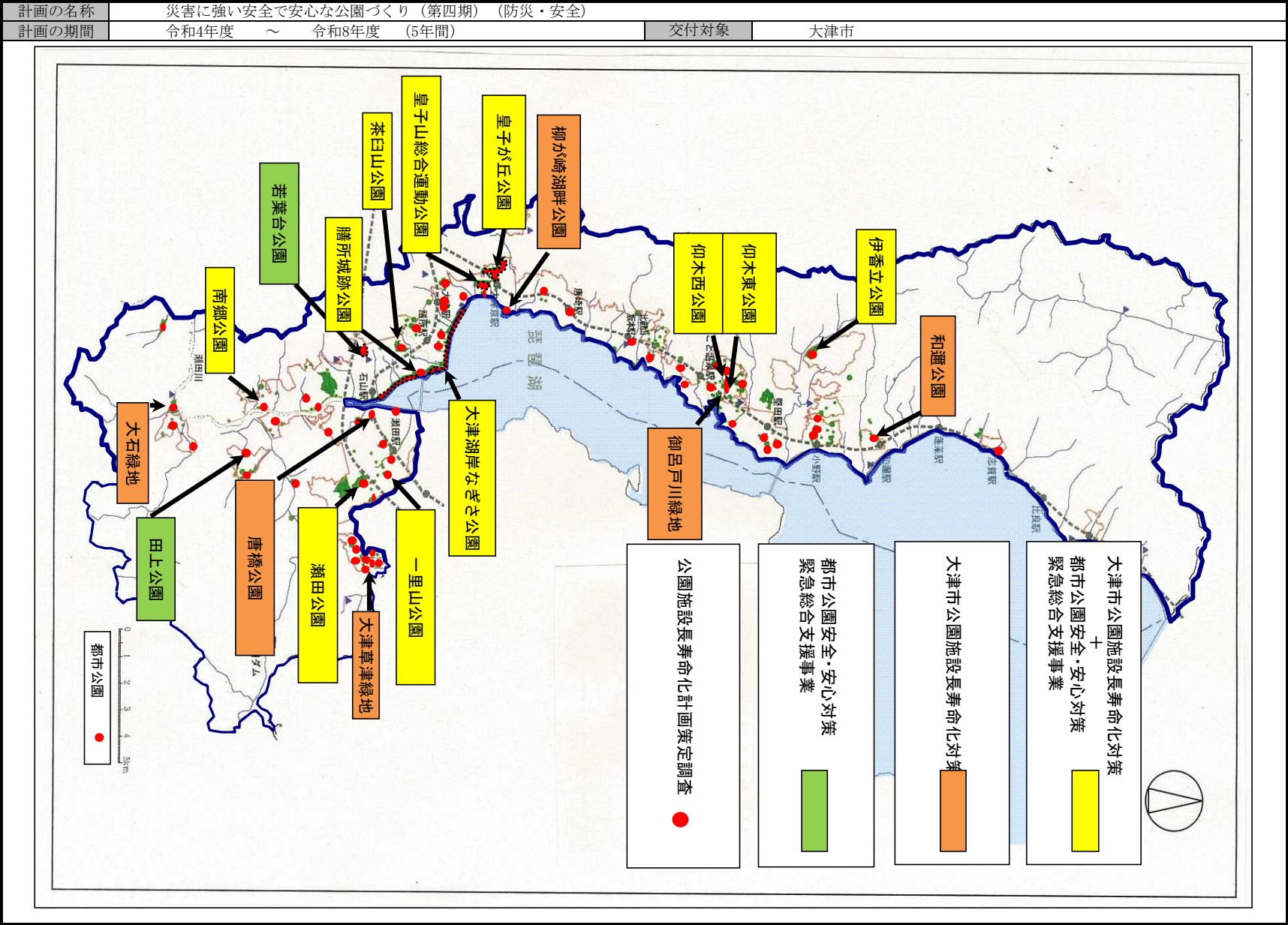
A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	大津市	直接	大津市	-	-	都市公園安全・安心対策 緊急総合支援事業	皇子が丘公園ほか12公園に おける施設のバリアフリー化 等	大津市	■	■	■	■	■	190		-	
	A12-002	公園	一般	大津市	直接	大津市	-	-	公園施設長寿命化計画策 定調査	公園施設長寿命化計画策定調 査 等	大津市	■	■	■	■	■	50		-	
	A12-003	公園	一般	大津市	直接	大津市	-	-	大津市公園施設長寿命化 対策	皇子が丘公園ほか16公園に おける施設の改修 等	大津市		■	■	■	■	16		策定済	
												小計						256		
											合計						256			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R04	R05	R06		
配分額 (a)	26	10	25		
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	26	10	25		
前年度からの繰越額 (d)	0	18	1		
支払済額 (e)	18	27	8		
翌年度繰越額 (f)	8	1	18		
うち未契約繰越額(g)	8	1	6		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	30.76	3.57	23.07		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	P-PFI事業に伴う設置予定者との協議やピワイチ事業に伴う安全施設の整備に関する協議に不測の日数を要したため		工事の施工に伴い発生する迂回路、通行規制機関について、地元との調整に不測の日数を要したため。		

(参考様式) 参考図面 (社会資本総合整備計画 広域連携事業)



事前評価チェックシート

計画の名称： 災害に強い安全で安心な公園づくり（第四期）（防災・安全）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 「緑の基本計画」との適合等	○
I. 目標の妥当性 1) 計画目標が緑の基本計画における基本目標と適合している。	○
I. 目標の妥当性 2) 緑の基本計画と整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性	
II. 計画の効果・効率性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 3) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果	
II. 計画の効果・効率性 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 基幹事業にちなんだ関連事業等の実施によって、より効果が上がるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 事業の緊急性	
III. 計画の実現可能性 1) 地域住民の安全性が確保されるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 2) 各地域の課題の解消となる計画となっている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境	
III. 計画の実現可能性 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○

[illegible]